

原発がこわい女たちの会
http://blog.zaq.ne.jp/g-kowai-wakayama/

《 2016年05月 | トップ | 2016年07月 》

検索

2016年06月22日(水)

検索

老朽炉高浜原発1・2号機の運転延長は認められない

アーカイブ

6月20日、原子力規制委員会は、40年を超えた関西電力高浜原発1・2号機について運転期間延長を認可しました。19団体で共同声明を出しました。(脱原発わかやまも入っています)

2016年6月20日

共同声明 40年超え老朽炉を廃炉に！ 高浜原発1・2号機の運転期間延長認可に抗議

本日(6月20日)、原子力規制委員会は、関西電力高浜原発1・2号機について、40年超えの運転期間延長認可を下しました。福島原発事故後、運転期間を原則40年に制限する制度が導入されたあと、延長の認可がだされた初めてのケースになります。私たちはこれに強く抗議します。

老朽炉の寿命延長に対し、これを危惧する声が広がっています。しかし、審査の公開資料は白抜きだらけで、第三者による検証はできず、初の寿命延長審査にもかかわらずパブリックコメントも実施せず、住民や市民、自治体等の意見を聞こうともしませんでした。6月13日、私たちは、熊本地震によって懸念された「繰り返し揺れ」問題などの評価について、国会議員の仲介により、会合を申し込みましたが、原子力規制庁は「多忙」を理由に異例の拒否。6月15日には要請書の受け取りすら拒否しました。老朽炉の危険性を具体的に批判され、それが公になることを恐れたからでしょう。このように、議論を避け、密室審査を続ける姿勢に怒りを禁じ得ません。被害をこうむる住民の意見を無視するなど到底許されることではありません。

福島原発事故を受けて、原発の運転期間は「原則40年」と決めたはずで、原子力規制委・規制庁はことであろうに、老朽化した原発の実態も把握せず、認可ありきで審査を急ぎ、審査ガイドを破ってまで、期限内の認可を強行しました。福島原発事故の教訓を葬り去り、事故を再び繰り返すことは断じて許されません。

地震の活動期に入り、巨大地震がいつでもどこで起きてもおかしくない状況で、設計が古く、設備の劣化が進み、点検も不十分な状況で認可するなど、危険極まりない行為です。

高浜1・2号の耐震性が不十分なことは、熊本地震に照らしても明らかです。熊本地震のような繰り返しの揺れを考慮した耐震評価は実施されていません。

元原子力規制委員会委員長代理の島崎邦彦氏は、熊本地震のデータから、「入倉・三宅式」を用いて基準地震動を策定すると過小評価となり、日本の地震データを基にした「武村式」と比べて4分の1の過小評価となるため、「入倉・三宅式」は使うべきではないと警告を発しています。これはまさに高浜1・2号に当てはまる問題です。同時に、各地の裁判や運動の中で、市民が主張してきたことでもあります。規制委・規制庁は16日に島崎氏から意見聴取を行いました。しかし、その警告を無視するかのように高浜1・2号の運転延長を認可しました。

老朽化した高浜1・2号の特有の危険性が具体的に明らかになっています。電気ケーブルの劣化により事故時に絶縁性が急低下し、制御ができなくなる恐れがあります。しかし、規制委・規制庁は具体的な判断基準も持たずに、関電のいいなりです。

高浜原発1号機は、全国の原発でもっとも原子炉圧力容器の中性子による脆性破壊が発生し易い原発です。廃炉が決まっている玄海原発1号より脆性

2016年11月(2)
2016年10月(1)
2016年09月(1)
2016年08月(2)
2016年07月(4)
2016年06月(2)
2016年05月(1)
2016年04月(3)
2016年03月(2)
2016年02月(3)
2016年01月(2)
2015年12月(4)
2015年11月(2)
2015年10月(1)
2015年09月(3)
2015年08月(3)
2015年07月(2)
2015年06月(2)
2015年05月(2)
2015年04月(2)
2015年03月(2)
2015年02月(2)
2015年01月(5)
2014年12月(3)
2014年11月(2)
2014年10月(2)
2014年09月(2)
2014年08月(1)
2014年07月(2)
2014年06月(1)
2014年05月(3)
2014年04月(4)
2014年03月(1)
2014年02月(1)
2014年01月(3)
2013年12月(4)
2013年11月(1)
2013年10月(3)
2013年09月(5)
2013年08月(1)
2013年07月(3)
2013年06月(5)
2013年05月(3)
2013年04月(2)
2013年03月(6)
2013年02月(2)
2013年01月(3)
2012年12月(2)
2012年11月(1)
2012年10月(2)

遷移温度は高く、事故時にEGCSの水を注入すれば、圧力容器が壊れる危険があります。やはり中性子の照射により炉心の金属板を留めるボルトにひび割れが生じている恐れがありますが、まともに検査すら行われていません。

さらに、熊本地震が示したように、「屋内退避」を中心とした規制委の指針では、住民の安全を守ることはできません。

40年超えの危険な運転延長は認められません。高浜原発1・2号機は、認可を取り消し、直ちに廃炉にすべきです。

<19団体>

福井から原発を止める裁判の会／高浜原発40年廃炉・名古屋行政訴訟を支える市民の会／原発設置反対小浜市民の会／ふるさとを守る高浜・おおいの会／避難計画を案ずる関西連絡会／脱原発はりまアクション／おおい原発止めよう裁判の会／3.11ゆいねっと京田辺／原発なしで暮らしたい丹波の会／原発なしで暮らしたい宮津の会／脱原発わかやま／グリーン・アクション／美浜・大飯・高浜原発に反対する大阪の会／放射能のゴミはいらない！市民ネット・岐阜／川内原発30キロ圏住民ネットワーク／玄海原発プルサーマルと全基をみんなで止める裁判の会／国際環境NGO FoE Japan／福島老朽原発を考える会／原子力規制を監視する市民の会

<連絡先> 原子力規制を監視する市民の会 TEL:03-5225-7213 090-6142-1807(満田)
住所:東京都新宿区下宮比町3-12明成ビル302
<http://kiseikanshi.main.jp/2016/06/20/732/>

老朽炉を廃炉に！

署名は第一次署名提出行動と院内集会を29日に行います。28日に集約の作業を行いますのでまだの方はぜひお願いします！手持ちのものは至急送付してください。29日の集会にもご参加ください！！

40年超え老朽炉三兄弟(高浜1・2号／美浜3号)の廃炉を要求する署名ネット署名フォームはこちらです
<https://fs224.formasp.jp/f389/form1/>

紙版はこちらです
http://www.jca.apc.org/mihama/hairo/sig_hairo201604.pdf

老朽炉を廃炉に！6／29院内集会と署名提出行動へ
http://kiseikanshi.main.jp/2016/06/16/stop_rokyuro/

阪上 武

2016-06-22 | 記事へ | コメント(0) |

2016年06月05日(日)

寺井拓也さんを偲ぶ

4月14日、寺井拓也さんが私たちの前から旅立っていられました。享年70歳。

寺井さんは、田辺市～白浜町の「つゆくさと大地の会」の会員で、2010年から汐見文隆氏に代わって「脱原発わかやま」の代表をされていました。次の年に3.11東京電力福島原発の事故が起き、代表になられたばかりでご苦労もあつたと思いますが、福島原発事故の過激さに果敢に行動され代表の責務を果たされました。原発のみならず寺井さんは平和や人権の問題にも精力的に取り組んで来られたことはよく知られています。草の根の市民運動の理論的・実践的存在として紀南の田辺市に腰を据えながら、全県下へ、全国へ、視座を広げ行動されてきたのです。

私たちの知る寺井さんは、事故後の県当局との話し合いなどの時、緻密な論理構成で私たちの主張と相手方の対応をかみ合わせてもらえらる方でした。当局やマスコミに公表する抗議文書なども的確に作成していただきました。どれも何処かからの借り物ではなく、ネットや書物を丹念に検索し事実のみを抽出

- 2012年09月(2)
- 2012年08月(2)
- 2012年07月(4)
- 2012年06月(4)
- 2012年05月(3)
- 2012年04月(1)
- 2012年03月(1)

最新コメント

- [日韓の原発事情、国 by 民 守 正義(08/21)
そもそも、我が和歌 by 清水俊幸(07/25)
コメントありがとう by sora (12/05)
突然すみません。東京 by 里美(11/22)
10/26と11/29のチケット by 角谷(10/23)
starさんコメントあり by sora (09/14)
このブログを読むまで by star(09/13)
こんにちは。メッセ by わんこ(04/15)
現在稼働している大飯 by star(04/09)
廃炉産業を起こしてほ by kaziharayosiyuki(03/14)

カレンダー

< 2016年06月 >

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

最新記事

- 琵琶湖が危ない 老朽原発美浜3号も廃炉に！ 11・13 琵琶湖集会(11/15)
汐見文隆先生、ありがとうございました(11/08)
原発がこわい女たちの会 ニュース99号発行(10/12)
高速増殖炉もんじゅ廃炉へ(09/27)
老朽原発・美浜3号機は廃炉に！パブコメを出そう(08/28)
ピースボートで韓国古里(コリ)原発を見学してきました(08/21)
熊本地震の経験から原発の耐震性見直しを要求し、25団体で共同声明を出しました(07/22)
老朽原発・関西広域連合へ要望書と和歌山県との話し合い(07/17)
原発のない社会を投票で示そう！(07/05)

した実証性に基いていることに、いつもこころ強さを感じていました。

進行した大腸癌が発見されたとの突然の報を受けたのは、昨年6月20日の「脱原発わかやま」総会で元気にお会いしたそのすぐ後の7月中旬でした。信じられない、ウソであってほしい、何故ここまで分からなかったか…、と思わずにはいられませんでした。

寺井さんは治療に専念されることになり、緊急手術の後は抗がん剤治療を止めて自宅療養、食事療法を続けられました。病魔に負けないで、と回復を願う祈りもむなしくついにご逝去されたが、葬儀は行われず遺体は医学部に献体されました。ずっと以前よりの寺井さんの意思であり遺言だったそうです。

去る5月28日(土)、田辺市において、「寺井拓也さんを偲ぶ会」が催されました。準備万端して下さったのは、田辺市在住の方々を中心に脱原発わかやまと9条ネットの皆さんでした。老若男女(若はやや少なし)およそ70名の参加者は、寺井さんとの思い出を語り合い、今後に残されたものを共有しました。

RaRa Locale(ララロカレ)は、今は民家カフェだがかつてつゆくさの会結成も行われた場所。ここの2Fのギャラリーが会場です。正面には白い花に囲まれていつもの温顔で微笑む寺井さんの遺影が掲げられ、この傍らでスピーチが続きました。



全部で20名の方々からのリレー・スピーチ(ご挨拶、メッセージ代読を含む)は圧巻。

異口同音でした。実証的、細かく調べ尽す、熱心で几帳面、計画性がある粘り腰。けれども決して固執的ではなく、細やかな気配りで、分かりやすく伝える広がりがあった…。

その一方で、謹厳実直そうなのにユーモアがあって愉快、ふだんは小さい声なのにデモを先導するシュプレヒコールはとてつもなく大声、等々ユニークなお人柄を示すエピソードも。

とくに『原発を拒み続けた和歌山の記録』(寿郎社)出版に関しては、寺井さんが実質的な調整役として共著者の個性を繋ぎ、こまごまとした雑用事務をも担われたからこそ成しえたこと、と何人かの関係者からの証言もありました。この著作は、後日、「地方出版文化功労賞奨励賞」を受賞するというおまけがつくのですが(2013年7月28日の本ブログ参照のこと)、寺井さんによる受賞記念スピーチ草稿(偲ぶ会でプリントが配付)は、寺井さんの出版に向けた思いの深さを示すものです。なお当日は寿郎社の社長夫妻もご出席でした。

原発がこわい女たちの会
ニュース98号発行(07/04)

SCHEDULER

ナビゲーション

トップ
記事の投稿
管理
RSS
ログアウト

BLOGariは2017年1月末
サービス終了します

最後にお連れ合いの秋代さんから、ご挨拶がありました。家庭人としての素顔は、ますます寺井さんのことを彷彿とさせるものでした。一つあげるなら、「主夫」をされていたことは知っていたが、そのご夫妻間のいきさつや日常の家事について具体的にお聞きするのは今回が初めてでした。とくに「夫は外で働き、妻は家庭を守る」という性役割イデオロギーに囚われず、妻が外という逆転スタイルで結婚生活の大半を貫いたということはやはり稀有なこと。生前にもっとお話してみたかったです。

「(彼の誠実さ、熱心さに)感心するというより、変わってるな~と思った(笑)」と仰る秋代さんなのですが、ご友人の証言によると、夫に点数をつけるならばの話で「120点!!」だったそうです。寺井拓也さんのエネルギッシュな市民運動は、その基地としてよきご家族ご家庭をお持ちだったからかもしれません。「平らかで穏やかな日々を家族で最後に過ごせたことは幸せでした」という秋代さんの言を深く肯きながらお聞きしました。

合掌

2016-06-05 | [記事へ](#) | [コメント\(0\)](#)

RSS 2.0